



スライド条項適用判断ツールの使用について

- ①～⑭を入力いただくことで、各種スライドの適用の判定をします。
- 価格変動や協議の結果等により、実際の結果と異なる場合がございます。ご承知のうえ参考としてご利用ください。
- ①～⑭【黄色枠】全てを入力してください。

○参考資料

・インフレスライド算出参考

P1: 請負代金額から基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額  
 $P1 = \text{変動前残工事の工事価格}(\text{㉗}) \times \text{落札率} \times (1 + \text{消費税率})$   
P2: 変動後(基準日)の賃金等を基礎とし算出したP1に相当する額  
 $P2 = \text{変動後残工事の工事価格}(\text{㉘}) \times \text{落札率} \times (1 + \text{消費税率})$

インフレスライド条項の規程の運用に関することは、宮崎県ホームページ「宮崎県工事請負契約約款第25条第6項(インフレスライド条項)の規程の運用について」をご覧ください。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/giutsukikaku/shigoto/kokyoigyo/page00145.html>

・単品スライド算出参考

M<sub>当初</sub>鋼、M<sub>当初</sub>油、M<sub>当初</sub>材料: 価格変動前の鋼材類、燃料油、その他の主要な工事材料の金額  
 $= \{p1 \times D1 + p2 \times D2, \dots + pm \times Dm (\text{㉙} \sim \text{㉛})\} \times k \times (1 + \text{消費税率})$   
M<sub>変更</sub>鋼、M<sub>変更</sub>油、M<sub>変更</sub>材料: 価格変動後の鋼材類、燃料油、その他の主要な工事材料の金額  
 $= \{p'1 \times D1 + p'2 \times D2, \dots + p'm \times Dm (\text{㉜} \sim \text{㉞})\} \times k \times (1 + \text{消費税率})$

p: 設計時点における鋼材類、燃料油又はその他主要な工事材料に該当する各材料の単価  
p': 価格変動後における鋼材類、燃料油又はその他主要な工事材料に該当する各材料の実勢価格  
D: 鋼材類、燃料油又はその他主要な工事材料に該当する各材料について算定した対象数量  
k: 落札率

単品スライド条項の規程の運用に関することは、宮崎県ホームページ「宮崎県工事請負契約約款第25条第5項(単品スライド条項)」をご覧ください。

[https://www.pref.miyazaki.lg.jp/giutsukikaku/shigoto/kokyoigyo/tanpin\\_slide.html](https://www.pref.miyazaki.lg.jp/giutsukikaku/shigoto/kokyoigyo/tanpin_slide.html)

判定①: 協議開始日について

契約締結日 ① 2026年5月1日  
(契約締結日を入力)

工期末 ② 2027年3月25日  
(契約工期の末日を入力)

協議請求日 ③ 2026年7月1日  
(様式1の請求日を入力)

想定される基準日(インフレスライド) (③から起算して14日以内) 2026年7月1日～2026年7月15日

協議請求期限(インフレスライド) (工期末により想定される請求期限) 2027年1月24日

協議請求期限(単品スライド) (工期末により想定される請求期限) 2027年1月24日

判定②: 変更額について

予定価格(税込み) (当初設計金額における予定価格を入力)

当初請負代金額(税込み) (当初の請負代金額を入力)

落札率

最終請負代金額(税込み) (最終請負代金額を入力) ※スライド額を加算する前の金額

(インフレスライド)

変動前残工事の工事価格(旧単価)

(P1の赤字部分を参考に算出し入力) ※落札率・消費税は掛け合わせない価格

変動後残工事の工事価格(新単価)

(P2の赤字部分を参考に算出し入力) ※落札率・消費税は掛け合わせない価格

変動前残工事請負代金額(旧単価) = ㉗ × 落札率 × (1 + 消費税率10%)

変動後残工事請負代金額(新単価) = ㉘ × 落札率 × (1 + 消費税率10%)

予定差額

負担額(変動前残工事請負代金額の1.0%)

スライド額(予定差額と負担差額の差)

(単品スライド)

当初設計金額

鋼材類

(M当初鋼に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

燃料油

(M当初油に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

コンクリート類

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

アスファルト類

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

その他工事材料

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

変更設計金額

鋼材類

(M当初鋼に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

燃料油

(M当初油に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

コンクリート類

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

アスファルト類

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

その他工事材料

(M当初材料に関するpとDの積について、左記赤字部分を参考に算出し入力)

変動額

鋼材類 = (㉜ - ㉙) × 落札率 × (1 + 消費税率10%)

適用対象か判定(変動額鋼が請負代金額の1.0%を超えた場合、対象)

燃料油 = (㉝ - ㉞) × 落札率 × (1 + 消費税率10%)

適用対象か判定(変動額油が請負代金額の1.0%を超えた場合、対象)

コンクリート類 = (㉟ - ㊱) × 落札率 × (1 + 消費税率10%)

適用対象か判定(変動額コンクリートが請負代金額の1.0%を超えた場合、対象)

アスファルト類 = (㊲ - ㊳) × 落札率 × (1 + 消費税率11%)

適用対象か判定(変動額アスファルトが請負代金額の1.1%を超えた場合、対象)

その他工事材料類 = (㊴ - ㊵) × 落札率 × (1 + 消費税率12%)

適用対象か判定(変動額その他工事材料が請負代金額の1.2%を超えた場合、対象)

変動額対象項目 合計

負担額(請負代金額の1.0%)

スライド額(変動額と負担額の差)

④(税込み金額) ¥50,000,000

⑤(税込み金額) ¥45,000,000

90.00%

⑥(税込み金額) ¥50,000,000

⑦ ¥40,000,000

⑧ ¥45,000,000

¥39,600,000

¥44,550,000

¥4,950,000

¥396,000

¥4,554,000

⑨ ¥2,000,000

⑩ ¥500,000

⑪ ¥1,000,000

⑫ ¥1,000,000

⑬ ¥1,000,000

⑭ ¥2,300,000

⑮ ¥1,200,000

⑯ ¥2,000,000

⑰ ¥1,100,000

⑱ ¥3,000,000

¥297,000

対象外

¥693,000

対象

¥990,000

対象

¥99,000

対象外

¥1,980,000

対象

¥3,663,000

¥500,000

¥3,163,000

★簡易判定★

対象となるスライド名称	簡易判定結果		想定されるスライド額
	判定①(協議時期)	判定②(変更額)	
インフレスライド	OK	OK	¥4,554,000
単品スライド	OK	OK	¥3,163,000

※実際に各種スライドの適用が可能については、発注機関と協議を行い、可能な場合は指定された様式で手続きを進めてください。